



浦川原中学校だより — おおらかに、たくましく生きぬく生徒 —

# きずな

## 重点目標

- (1) 自ら学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む授業の充実
- (2) 豊かな心と主体的に生きる力を育てる特別活動・部活動の充実
- (3) 将来の生き方を考えさせる体験活動の充実
- (4) 地域とともに歩む学校の実現に向けた、家庭や地域との連携強化



第5号 令和4年9月16日発行

## 備えあれば 憂いなし

校長 中澤 正明

「天災は忘れた頃にやってくる」と言います。毎年のように日本の各地で自然災害(暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火)が発生し被害をもたらします。雑節の一つである「二百十日」や「二百二十日」というのは、収穫を目前にした稲に大敵である台風が多くやってくる時期を表す言葉で、立春から数えた9月初旬に当たります。この頃は、稲が開花する重要な時期ですが、農作物に甚大な影響を与える台風に見舞われることも多い時期です。

このように自然の脅威には計り知れないものがありますが、学校では、いつ襲ってくるか分からない天災に備え、年に数回防災訓練を行っています。

9月2日には、旧中保倉小学校を会場に、浦川原中学校区学校運営協議会、浦川原区青少年育成会から御協力をいただき、地域、小学校、中学校が合同で「防災キャンプ in 浦川原」を実施しました。これは、浦川原区で想定される自然災害への対応と防災訓練をとおして、防災教育の視点に立った中学生ボランティアの育成を図ることを目的としています。地域防災について学習した後、実際に発煙筒で煙を校舎に充満させ、視界が悪い中、3階から1階へ降りる避難体験を行いました。階段は吹き抜けになっているため、下から上へ煙が勢いよく上がってくことで、想像以上に真っ白な光景が広がり視界が遮られ、身を挺して壁や手摺り伝いに前に進むことに困難さがありましたが、落ち着いて行動することで安全に避難できることが分かりました。また、災害に遭遇したら自分の命を守ることが一番ですが、救急救命法体験として、竹竿と毛布を使っての搬送体験や心肺蘇生法体験、AED体験、消火器を使用した初期消火訓練を行ったことで自信をもって行動できるようになりました。

実際に災害が起きた時に、できるだけ被害を少なくするには、事前に防災対策を立てておかなければなりません。防災を考えるうえで、必要な三要素として「自助」「共助」「公助」があります。

「自助」というのは、自分(家族)の命は自分(家族)で守るということです。この考えの基、日頃災害に対して備えたり、発災時には負傷せずに生き残る事が防災対策の基本となります。

「共助」というのは、自分たち(地域・組織・グループ)は、自分たち(地域・組織・グループ)で守るということです。自分が負傷せずに生き残れたら、地域・組織・グループの人たちと助け合うということです。災害時に円滑に助け合いができるように、日頃から備えることが大切です。

「公助」というのは、行政機関等(消防・警察・自衛隊など)が守るということです。国、自治体、消防、警察、自衛隊などによる公的な救助・災害支援や復旧活動のことです。プッシュ型支援(避難所への水・食料の提供)、ライフラインの復旧、情報収集と発信・伝達、避難所の開設などがあります。

私たちが常に意識しておきたいことは、「公助」は「自助」「共助」の上に成り立つということです。一番肝腎なことは、その時自分がどのような判断をし、どのような行動をとるかです。まず何より我が身の「命」を守ることです。そのために最善な方法を速やかにとること。そして、その判断を他者任せにしないことです。家族を守る、周囲の人を助けるといった行為も自分の命があつてのことです。

「備えあれば 憂いなし」 日頃からの心の備えを忘れずに御家庭での準備もよろしく願いいたします。

## ■学校評価

7月に行った学校評価アンケートや各種調査の結果を基に、1学期の取組を評価・総括しました。生徒、保護者の皆さんの声を生かし、2学期以降の取組を改善・向上させていきます。

### 【重点目標「自ら学ぶ意欲を育て、確かな学力の定着を図る」について】

<p>&lt;目指す成果&gt;</p> <p>①授業が分かる生徒が80%以上 ②学び合い学習で理解が深まった、新しい考えがもてた生徒が80%以上 ③学びのサイクルを意識して、学習に取り組んだ生徒が80%以上 ④家庭学習時間を1時間以上している生徒が60%以上</p>	<p>&lt;主な調査の結果&gt;</p> <p>①生徒アンケートにおける肯定的回答の割合 : 85.7% ②生徒アンケートにおける肯定的回答の割合 : 88.9% ③生徒アンケートにおける肯定的回答の割合 : 69.8% ④生徒アンケートにおいて1時間以上したと回答した割合 : 66.7%</p>
<p>&lt;取組の評価(成果○)と課題(▲)&gt;</p> <p>○1, 3年生では「授業が分かる」、「学び合い学習で〜」、「家庭学習を平日1時間〜」の目標の数値を達成している。学習の指導として一定の成果が得られたのではないかと考える。</p> <p>▲「学びのサイクル」では、全学年とも目標の数値を達成できなかった。指導の体制として、授業のサイクルの確立するための手段が不十分で、学校全体として、意識して取り組んでいるとは言えない状況であった。特に、2年生では、全ての項目で目標の数値を達成できなかった。一斉授業だけでなく、個に応じた手立てが必要である。</p>	<p>&lt;今後の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのサイクル」を掲示し、取り組む内容を教員と生徒で確認する。また、生徒が主体的に学習に取り組めるようにして、家庭学習の時間や質を向上させ、学習の理解度を高める。</li> <li>・「*KHHのキホン」について、2学期初めの授業で職員と生徒で確認し、話し合い活動を充実させる。</li> <li>・浦川原中学校区教師の5か条を意識して、授業改善を進める。</li> </ul> <p><b>*KHHのキホンは</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 うなずきながら目と耳で聞く(K)</li> <li>2 自分の考えをもち、自分の意見を相手に話す。(H)</li> <li>3 違憲の共通点や相違点に気付き、更に良い意見に話し合い、まとめる(H)</li> </ol>

### 【重点目標「豊かな心と主体的に生きる力を育てる教育の充実を図る」について】

<p>&lt;目指す成果&gt;</p> <p>①自分には良いところがあるとする生徒が70%以上 ②他者に認められていると感じる生徒が70%以上 ③相手の立場や気持ちを考えて行動することができた生徒が80%以上 ④学校生活に満足であるとする生徒が80%以上</p>	<p>&lt;主な調査の結果&gt;</p> <p>①生徒アンケートにおける肯定的回答の割合 : 65.1% ②生徒アンケートにおける肯定的回答の割合 : 66.7% ③生徒アンケートにおける肯定的回答の割合 : 88.9% ④生徒アンケートにおける肯定的回答の割合 : 92.1%</p>
<p>&lt;取組の評価(成果○)と課題(▲)&gt;</p> <p>○5月体育祭やチャレンジウォークなど生徒同士で話し合ったり、意見を出し合ったりして協力しながら活動したことが、成功体験と学校生活の満足度に結び付いた。さらに、振り返り活動に合わせて、感謝の気持ちやメッセージが学年間の垣根を越えて、届けられたことで、相手の気持ちになって行動する雰囲気を作ったと考えられる。</p> <p>▲各活動においてリーダーとなる生徒を中心に活動ができているが、それ以外の生徒が発言しやすい活動や、状況を作ることが必要。</p>	<p>&lt;今後の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動やノーチャイム運動など、全校生徒が主体で動く活動があるので、その都度様子を見ながら、生徒一人一人への声かけをしていく。</li> <li>・いじめ見逃しゼロスクール集会をとおして、いじめのない学校を目指すとともに、お互いを認め合う雰囲気をも更に強化できる活動を考えていく。</li> <li>・音楽フェスティバルに向けて、学級練習を通し、一つの目標に向かって取り組むことの大切さや喜びを感じることで、学級の所属感や自己肯定感を高めさせる。</li> </ul>

### 【重点目標「たくましい気力・体力を育成する健康安全指導」について】

<p>&lt;目指す成果&gt;</p> <p>①「食事」「睡眠」「うがい・手洗い」に関する質問に対する肯定的評価の生徒が80%以上 ②メディアマネジメントについて、家庭内で約束を決めて取り組んだ生徒が70%以上 ③体力テストの結果に改善・向上が見られた生徒が80%以上</p>	<p>&lt;主な調査の結果&gt;</p> <p>①生徒アンケート健康・体力における肯定的回答の割合の平均 : 83.3% ②生徒・保護者アンケートにおける肯定的な回答の割合の平均 : 60.5% ③生徒アンケートにおける肯定的回答の割合 : 68.3%</p>
<p>&lt;取組の評価(成果○)と課題(▲)&gt;</p> <p>○健康に関する規則正しい生活について、肯定的評価の生徒が83%であり、生活習慣の大きな乱れは見られない。コロナ禍の影響を受け、日々の体温測定や手洗い、マスクの着用等健康に過ごそうと意識的に取り組んでいると思われる。</p> <p>○食育関係では、給食前の手洗いや準備も良好である。全体的に残食も少ない。また、献立名や食材などを確認し、食に関心を持っている生徒が多い。</p> <p>▲メディアマネジメントについては、1学期は振り返りやテスト前の取組にとどまった。</p> <p>▲体育の活動を通して、体力向上に働きかけていく。</p>	<p>&lt;今後の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期は生徒保健委員会の活動としてデイリーライフを活用して生活習慣のチェックと改善を働きかけていきたい。</li> <li>・2学期以降に体力測定を再度設定し、準備から振り返りまでを行う。結果の向上に向けた取組を生徒たち自身に考えさせる。</li> </ul>

## ■防災キャンプ

9月2日(金)に旧中保倉小学校校舎にて、防災キャンプが行われました。浦川原中学校からは1年生が参加して、煙体験、消火体験、AED体験、搬送体験の他、非常食のカレーを試食しました。将来的には中学生が地域の防災リーダーとして活躍できるよう期待しています。以下、体験した生徒の感想です。

- 煙があると、全く前や足元が見えないことが分かりました。消火器や担架の使い方もしっかりと正しい答えを確認して覚えられました。学んだことを家族にも話して、もしもの時に活かせるようにしたいです。
- 竹と毛布だけで担架を作れるのは驚きました。教えてもらった2つの方法は、安全に運ぶための工夫がありました。消火体験をして、一番大事なのは、まずは火事を知らせることと、焦らずに行動が大事でした。今回の体験で防災のことをよく考えることができました。
- 実際に煙体験をして、災害は大変なものだと実感しました。途中から白い煙で視界を奪われ、声と感覚だけが頼りでした。AED体験では、人形に向かって胸骨圧迫をしました。もし、万が一の時があったら、見て見ぬ振りはせず、冷静に対処をしたいと思います。消火体験では、火事が起きたときは一人ではなく、複数人の人と協力した方が早く消火できると分かりました。

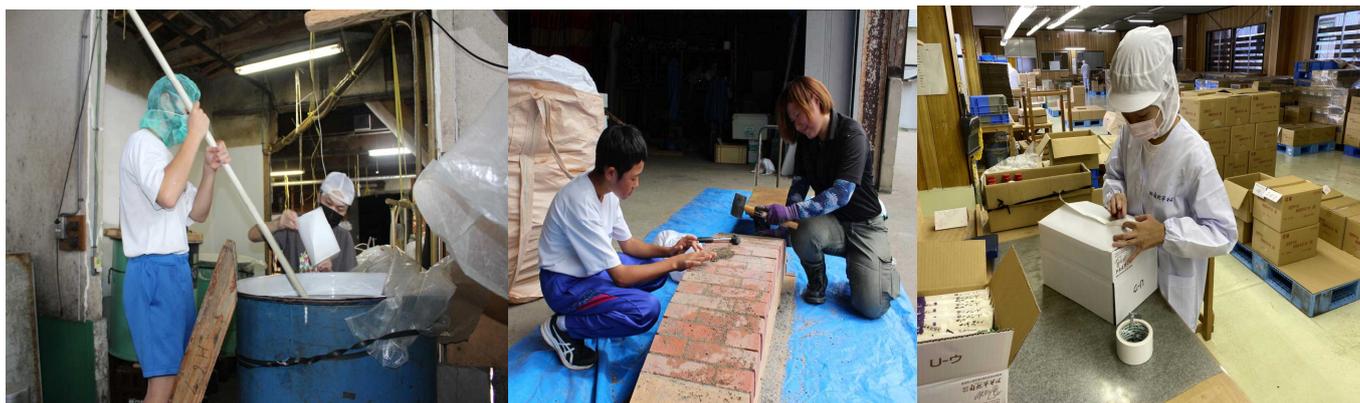


## ■職場体験

夏休みに2年生は浦川原区内の職場体験を行いました。実際に仕事をしている職業人と話し話を聞き、働くことの素晴らしさ、喜び、厳しさなどを体験したり、聞いたりして学ぶことができました。

生徒の感想を紹介します。

- 職場体験学習をしてみて、感じたことは感謝の気持ちでいっぱいになりました。三星工業で働いている多くの方が明るく挨拶を返してくれました。そして、不安がいっぱいな私に親しくいろいろなことを話さ、貴重な体験をさせてくださった事に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今まで、近くにある三星工業は何をしているのか分かりませんでした。今回、職場体験学習で、三星工業は金属加工をロボットやプログラミングを人の手で作っているところだと分かりました。ものづくりの良さは、達成感、やりがいを味わえることだと思いました。金属から形を正確に形成していく技術に感動しました。仕事をしている姿が格好いいと感じました。
- 「挨拶」そして「配慮」を改めて学ぶ機会がたくさんありました。その学んだことを次に活かしていきたいです。自分は接客業などが向いていないと思いましたが、お客さんが「職場体験頑張ってるね!」とってくれて、嬉しかったです。緊張もありましたが、多くの人が応援してくれたおかげで頑張れました。すごく良い経験でした。



## ■うらがわら花いっぱい運動

9月15日に「うらがわら花いっぱい運動」の第2弾を行います。浦川原地区にある事業所に花を届けます。花の説明をボランティア委員長が全校朝会で話をしました。

今回は、9月15日に花を各事業所に届けに行きます。届ける花はコスモスです。このコスモスは私たちボランティア委員会が種から育てたものです。7月に種を蒔いて、夏休み中も水やりを忘れることなく育てました。小さな芽から、大きくなるにつれて葉っぱが小さく細かいものが、枝分かれして生えてきました。コスモスは秋桜(あきぎくら)と書きます。秋に咲く花で、コスモスの花言葉は「平和」という意味が込められています。もらった人が嬉しくなるようなメッセージを込めて贈りましょう。

浦川原中学校ボランティア委員長 深澤真輝



## ■学校支援プロジェクト

上越教育大学の大学院生が放課後学習に来て学習指導を行います。わからない教科の勉強の仕方や受験勉強やり方などの疑問を積極的に質問して、学力向上を目指していきます。

上越教育大学院の紹介(左側) ■■■■(●●●●●●●●)、  
(真ん中) ■■■■(●●●●●●●●)、(右側) ■■■■(●●●●●●●●)

短い期間ではありますが、浦川原中学校の皆さんと共に良い学びができるよう精進してきます。よろしくお願ひします。 上越教育大学大学院生一同

## ■お知らせ

新人各種大会が9月29日(木)に終わることから、翌週の10月3日(月)から部活動終了時刻及び完全下校時刻が右のように変更になります。日が暮れる時間が早くなります。御家庭でも改めて下校時の安全指導をお願いします。

	平常時程の日	短縮時程の日
部活動終了時刻	16:45	16:30
完全下校時刻	17:00	16:45

なお、月曜日と水曜日はこれまでと同様、部活動休止日で、終学活終了15分後が完全下校時刻です。

## ■10月の行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	土		17	月	小中連携協議会
2	日		18	火	
3	月	放課後学習会	19	水	授業改善支援訪問
4	火	上進連テスト②	20	木	救急法講習会3年生(5,6限 3年生)、学校預り金再振替日
5	水		21	金	漢字検定
6	木	3年生修学旅行 1日目	22	土	
7	金	3年生修学旅行 2日目	23	日	
8	土		24	月	
9	日		25	火	
10	月	スポーツの日	26	水	
11	火	放課後 音楽練習(28日まで)、学校預り金振替日	27	木	専門委員会
12	水	救急法講習会(5,6限 2年生)	28	金	音楽フェスティバル前日準備
13	木	地区駅伝大会	29	土	音楽フェスティバル、親子奉仕活動
14	金	全校朝会	30	日	
15	土		31	月	音楽フェスティバルの振替休日
16	日				

## 【お知らせ】

「浦川原中学校のホームページを御覧ください」

浦川原中学校のホームページでは、教育活動の様子を随時紹介しております。是非、右の QR コードにアクセスいただき、学校や生徒の様子を御覧ください。

